

MINAMIN  KUCHI

大庄西中学校跡地活用に向けた意見交換会
報告書

令和5年3月

目次

意見交換会の概要

- ・ 開催の目的
- ・ 開催概要
- ・ 各回のテーマ
- ・ ニュースレターの見方

意見交換会のまとめ・様子

- ・ 第1回意見交換会
- ・ 第2回意見交換会
- ・ 第3回意見交換会
- ・ 第4回意見交換会
- ・ 第5回意見交換会

参加者アンケート

今後の方向性

各回のニュースレター

意見交換会の概要

■開催の目的

令和4年4月に策定した「大庄西中学校跡地等の活用方針」に基づき、意見交換会を通じて、地域コミュニティの活性化を図るため、多くの意見・アイデアなどをいただき、その実現の場となる新しい公園やコミュニティスペースの将来像、利活用の方向性、空間や施設の整備内容、利用ルール、管理運営などについての意見等を集約し、協働型公園及びコミュニティスペースの実現に向けた運営を行うことを目的に実施。

■開催概要

日時：	#1 令和4年09月23日(金) 10:00-12:00	23名
	#2 令和4年10月29日(土) 10:00-12:00	14名
	#3 令和4年11月27日(日) 10:00-12:00	28名
	#4 令和5年01月14日(土) 10:00-12:00	34名
	#5 令和5年02月18日(土) 10:00-12:00	38名

場所： 大庄北生涯学習プラザ 3F ホール

■各回のテーマ

- #1 「やりたいコトを出そう！」
- #2 「やりたいコトを実現するための方法を考えよう！」
- #3 「公園内の配置（ゾーンプランニング）を検討しよう」
- #4 「みんなで将来の公園の風景をイメージしよう」
- #5 「集大成！これまでの振り返りと成果発表」

■ニュースレターの見方





[議事録] 第 1 回意見交換会前の打ち合わせ

日時：令和 4 年 9 月 1 日（木） 14 時～15 時 30 分 場所：会議室 1

出席者：尼崎市大庄地域課 3 名

東邦レオ 3 名

< 議題 >

1 9 月 23 日（金・祝）の資料の確認及び進め方

○これまでの経緯→尼崎で説明

・配置計画

・HP の勉強会振り返り資料

○東邦レオのファシリテーターによる進行（5 つのチーム分け）

○周辺公園の紹介（動画）→東邦レオ

・大庄地区内の公園を知ってもらうとともに、特色ある公園に向けて考えてもらう。

・ゾーニングを見据えて考えてもらう。

○まき割・焼きマシュマロは芝生広場とコミルームで実施

・コミルームでリラックスして話してもらう。

・和ろうそくを活用して、焼きマシュマロを体験

2 意見交換会のちらしの配布

近隣 5 連協の会長に対し、鳥生課長と平岡であいさつを行うとともにちらしを配布する。（9 月 5 日・9 月 6 日）

日時：令和 4 年 9 月 9 日（金） 13 時 30 分～16 時 30 分 場所：会議室 1

出席者：尼崎市大庄地域課 3 名、ファシリティマネジメント推進担当 1 名

東邦レオ 3 名

< 議題 >

1 9 月 23 日（金・祝）の資料の確認及び進め方

○受付でたこの折紙を名札にする。

○司会について、最初のこれまでの振り返り（10 分程度）まで尼崎市。協働型公園・コミュニティスペースの違いなどを尼崎市で説明。

委託事業者の紹介を尼崎市から行った後、東邦レオが公園の事例紹介以降、司会を行う。

○1 番実施したいことを 1 つ記載してもらい、理由を確認する。

2 新規拡充の考え方

社会実験事例

・新京極公園で実施した社会実験は、すべて公園にゆかりのある事例であり全く関係のない事業は実施していない。



[議事録] 第 1 回意見交換会前の打ち合わせ

日時：令和 4 年 9 月 1 5 日（木） 1 3 時 3 0 分～ 1 6 時 3 0 分

場所：会議室 1

出席者：尼崎市大庄地域課 4 名、公園計画・21 世紀の森担当 2 名、ファシリティマネジメント推進担当 1 名
東邦レオ 3 名

< 議題 >

1 9 月 2 3 日（金・祝）の資料の確認及び進め方

○パワポ資料を全員で共有を図った。

○次回 1 0 月 2 9 日実施場所

大庄北プラザ 3 階ホールで実施。

* 元浜緑地会議室は定員 2 0 名のため、実施できない。（空調は整備済）

○タイムラプスを見せる際に、公園部署と平岡でかけあいを行う。

○意見交換会の際、フリーは中島にする。

○あいさつ→振り返り→意見交換会の流れで行く。

○各チームの発表は東邦レオのファシリテーションが行う。

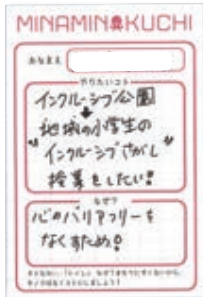
2 意見交換会のちらしの配布

9 月 2 3 日（金）の意見交換会の際に 1 0 月 2 9 日（土）の意見交換会のちらしを配布し、周知を図る。

第1回意見交換会まとめ

令和4年09月23日(金)10:00-12:00に開催した第1回目の意見交換会は総勢23名の方にご参加いただきました。「公園でやりたいこと」について、「なぜ？」という部分を中心に意見交換を行いました。新しい公園でどんな活動をしていきたいのか、まずは、同じ色の名札を選んだ方々で交流していただきました。その後、おおまかなジャンルごとにグループを再編成し、似たようなこと、近いことを考えている方々で交流していただきました。同じやりたいことでも、違うジャンルだと判断していたり、「なぜ？」の部分が違っていたり、様々な考え方や意見がありました。

ジャンルは自分のやりたいことについて、専有する必要があるグループと共有しながらできるグループとで分けられました。協働型公園を目指していく上で、運営ルール作りに活かせる意見をたくさんいただきました。



▲案内チラシ

▼当日の意見交換会の流れ

<h4>01</h4> <p>色ごと、 チームに分かれる</p>	<h4>02</h4> <p>自己紹介をする</p>	<h4>03</h4> <p>やりたいことを 出し合う</p>	<h4>04</h4> <p>ジャンルごとに 分かれて話し合う</p>	<h4>05</h4> <p>みんなで共有する</p>
--------------------------------------	----------------------------	-------------------------------------	---	-----------------------------

▼地域の方のやりたいことカードの意見

<h4>遊び</h4> <ul style="list-style-type: none"> 大人ができる運動遊具、子どものアスレチック 幼児から高齢者まで幅広く遊べる公園にしたい 大人も子どもも楽しめる公園 自由な発想が膨らむ。 想像力が発揮できる。 		<h4>イベント</h4> <ul style="list-style-type: none"> ドッグランを作りたい。 犬とさんぼがしたい。 イベント、盆踊り、ハロウィン、お化け屋敷、クリスマスなど。 犬が遊べる場所がない。 沢山飼ってるから。 人が集える場所になるから。 	
<h4>健康</h4> <ul style="list-style-type: none"> バーベキュー 健康運動、さんぼ サッカー グランドゴルフ ベタンク 健康寿命を延ばすため。 健康、友人とのコミュニケーションのため。 		<h4>安心・安全</h4> <ul style="list-style-type: none"> アウトドア・ライフができる、キャンプができる。 ゲリラ豪雨に備えて、地下に雨水を貯留し、その水を利用できるようにしたい。 自然を楽しみたい。 不便さを体験する。 朝陽・夕陽を見る。 	

第1回意見交換会の様子

1. これまでの振り返りと周辺の公園紹介

5月に実施した勉強会を振り返り、協働型公園を目指していくことや協働型公園について説明しました。また、独自性のある公園となるよう尼崎市大庄地区にある周辺の公園を動画にして紹介しました。



2. 意見交換会

参加者の皆様に「やりたいコトカード」を記入してもらい、名札の色ごとにグループを組み自己紹介・やりたいコトを発表してもらい、さらに大まかなジャンルごとに再度分かれて意見交換を行いました。その際に何故やりたいのかを共有することで地域の皆様の考えていることを深掘りしていきました。



3. 放課後「和蠟燭焚き火・焼きマシュマロ」

意見交換会終了後は、プラザの芝生広場で和蠟燭を使った焚き火体験を行いました。薪で行う焚き火とは違い、火の粉が飛びにくく、煙が出ないので安心に行うことができました。





[議事録] 第 2 回意見交換会前の打ち合わせ

日時：令和 4 年 9 月 3 0 日（金） 1 3 時 3 0 分～1 5 時 4 5 分 場所：会議室 1

出席者：尼崎市大庄地域課 4 名、公園計画・21 世紀の森担当 1 名

東邦レオ 4 名

< 議題 >

1 10 月 2 9 日（土）の資料の確認及び進め方

○協働型公園を前提に進めていく。

公園に遊びに来た人、公園でやりたい活動をする人、周辺住民役、公園管理者役などなりきり体験を経験してもらうことで管理運営の視点を意識してもらう。

○令和 5、6 年度に実施する社会実験を通じて、プレイヤーの組織化を図る中で、協働型公園の可能性を探っていく。

○成文小学校にアンケート調査（見守る目）を依頼 → 不可

総合学習（こども向け）とちらし（大人向け）で周知を図る。

○ニュースレター概略版（速報版）の作成。詳細のニュースレターは後日でも可。

2 意見交換会のちらしの配布

10 月 2 1 日（金）の常任理事会の際に 1 1 月 2 7 日（日）の意見交換会及び第 1 回意見交換会のニュースレターを配布し、周知を図る。

日時：令和 4 年 1 0 月 7 日（金） 1 3 時 3 0 分～1 5 時 3 0 分 場所：会議室 1

出席者：尼崎市大庄地域課 3 名、公園計画・21 世紀の森担当 2 名

東邦レオ 3 名

< 議題 >

1 第 1 回意見交換会速報版・詳細版、第 3 回意見交換会チラシ

○10 月 2 1 日常任理事会で配布予定

→速報版は、写真を多く活用し、文字を少なくし、ビジュアル重視とする。

2 保護者・子ども向けアンケート調査

○成文小学校との打ち合わせ：10 月 1 1 日 1 0 時～

3 第 2 回意見交換会の進め方

○あいさつ（鳥生課長）かるたではなく、ハロウィン仕様

前回の振り返り（中島）→協働型公園を前提（グラフ・位置付け）

4 ゾーンプランニングのたたき台作成にあたっての意見交換

○間に合えば、成文小学校の生徒が書いた「あったらいいな公園」も掲示する。

また、第 2 回意見交換会においても「公園でやりたいコト」を記載してもらう。

○公園でやりたいイメージを市職員が参加者から聴いて絵におこす。

共存するために、ハード整備もしくはルールで解決できるのか、考えるきっかけづくり

○たこパーカーを作成する



[議事録] 第 2 回意見交換会前の打ち合わせ

日時：令和 4 年 10 月 14 日（金） 13 時 40 分～15 時 50 分 場所：会議室 1

出席者：尼崎市大庄地域課 3 名、公園計画・21 世紀の森担当 1 名

東邦レオ 3 名

< 議題 >

1 第 1 回速報版、第 2 回意見交換会ちらし

○HP 掲載済み

○10 月 18 日・20 日の午前中に大庄西中に隣接している住民へ直接説明予定（尼崎市）

2 保護者・子ども向けアンケート調査

○子供会会長（寺坂会長）に依頼

10 月 27 日頃を目途に回収（随時）

○成文小学校に依頼（10 月 12 日アンケート手渡し）

10 月 27 日頃を目途に回収（2 年生以上を対象）

3 第 2 回意見交換会の進め方

○「専有」「共有」の言い方ではなく、「専用」「共用」の言い方で統一
定義を入れるのではなく、具体例を挙げていく。

○何人、広さ、時間、使用頻度を確認していく。

○「共用」グループでの意見交換を実施するにあたり、公園にかかるゾーニングのたたき台がある方が円滑に進むのではないかな。

○好きな公園を参加者に提案してもらう。

○公園内行為を深く確認していけば、ゾーニングにつながるのではないかな。ただし、詳細に聞きすぎると、公園基本計画に反映できない可能性もある。

○グループに分かれていることから、グループ発表後、第 3 回意見交換会の出席確認を行う。

日時：令和 4 年 10 月 25 日（火） 15 時～17 時 場所：会議室 1

出席者：尼崎市大庄地域課 2 名

東邦レオ 1 名

< 議題 >

1 第 2 回意見交換会

○初めて来た人、2 回目かの確認を行う。

○体育館のことについて、意見があった場合は、体育館の意見交換会に参加するよう促す。

○ゴルフ、野球の素振り、バドミントンなど実施してもいいが、みんなで譲り合ってやるのは可とする。当然、夜誰もいないことが確認できる状況であれば、実施してもいい。

○市が一律に公園を管理するのであれば、禁止看板の設置が増えていく可能性がある。

○8 グループに分かれることを想定し、レオ 8 人、市職員 8 人の体制で当日対応していく。



[議事録] 第 2 回意見交換会前の打ち合わせ

日時：令和 4 年 1 0 月 2 6 日（火） 1 3 時 4 5 分～ 1 5 時 3 0 分 場所：会議室 1

出席者：尼崎市大庄地域課 3 名

東邦レオ 2 名

< 議題 >

1 第 2 回意見交換会

○前日準備

机に A 型の形で、成文小学校の児童が書いた（新）南の口公園のイメージ図をプラダンに貼り付け、設置。

○受付で配布資料手渡し

【市において準備するもの】

市の封筒と配置計画、第 3 回意見交換会ちらし

【東邦レオにおいて準備するもの】

ニュースレター

日時：令和 4 年 1 0 月 2 8 日（金） 1 4 時 5 分～ 1 5 時 場所：会議室 1

出席者：尼崎市大庄地域課 3 名

東邦レオ 8 名

< 議題 >

1 第 2 回意見交換会

○スライドショーの確認

⇒市職員がイメージを絵におこすとともに、発表を行う。

（イラストを補完するための説明文もあわせて記載する。）

また、次回参加予約の受け付けを行う。

○専用

⇒面積、時間帯など確認を行っていく。

○共用・専用のグループ（3人以上）分けは、その場で行う。

第2回意見交換会まとめ

令和4年10月29日(土)10:00-12:00に開催した第2回目の意見交換会は総勢14名の方にご参加いただきました。「公園でやりたいこと」について、どうすれば実現できるのかを絵に描きながら意見交換を行いました。事前に成文小学校の子供たちに意見をもらい、それらをふまえて意見交換を始めました。今回も参加者の皆様にやりたいことカードを記入してもらいましたが、小学生の意見を叶えてあげたいという意見も拝見でき、地域の皆様でつくる公園に期待を持つことができました。

実現するには、地域同士のコミュニケーションを活発にし、誰かのやりたいを叶えていく運営組織・体制が必要だとみなさんと共有ができました。



▲案内チラシ

▼当日の意見交換会の流れ

01

やりたいことカードを書く

02

公園利用の仕方グループ分け

03

公園の使い方について考える

04

出てきた話を絵にまとめる

05

みんなで共有する

▼当日のスケッチ



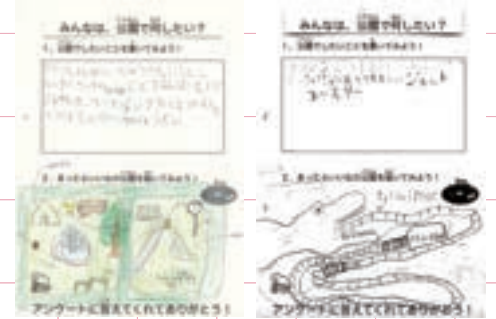
▼成文小学校の意見まとめ

大ジャンル	小ジャンル	やりたいこと	票
遊び	遊具	すべりだい	93
遊び	遊具	ぶらんこ	58
遊び	遊具	アスレチック	56
遊び	施設	バスケット	41
遊び	設備	ふんすい	38
安心安全	整備	ひるぼ	38
遊び	遊具	ジャングルジム	31
遊び	遊具	トランポリン	29
健康	設備	ベンチ	27
遊び	施設	プール	27
健康	施設	あずまや	26
遊び	整備	すなば	24
安心安全	設備	トイレ	23
遊び	遊具	てっぽう	21
遊び	施設	野球	21
遊び	遊具	うんてい	20
健康	設備	自販機	20
?	施設	おみせ	19
遊び	遊具	タコ遊具	17
遊び	遊具	シーソー	16
安心安全	設備	とけい	16
遊び	設備	サッカー	15
遊び	遊具	ターザンロープ	15
イベント	イベント	ふれあい広場	15
遊び	遊具	タイヤブランコ	13
安心安全	整備	しばふ	13
遊び	遊具	めいる	12
イベント	イベント	キャンプ	12
健康	整備	花だん	11
安心安全	整備	駐輪場	11
イベント	イベント	ドッグラン	10

第2回意見交換会の様子

1. 前回の振り返りと成文小学校の児童たちの意見

前回の意見交換会を振り返り、1ヶ月の間に集めた成文小学校の児童たちの約170枚におよぶ意見を貼り合わせて展示をしました。



2. 意見交換会

参加者の皆様に「やりたいコトカード」を記入してもらい、公園を「共用」「専用」の2つの利用の仕方グループ分けをし、「やりたいコトはどうすればできるのか」をテーマに意見交換を行いました。グループごとに、イメージしたものが共有しやすいようにイラストにして5分程度の発表を行いました。



3. 放課後「ハロウィンお菓子作り」

意見交換会終了後は、当日ハロウィンだったため急遽、お菓子くばりを開催し、地域の子供たちから公園でやりたいコトの意見もいただきました。





[議事録] 第 3 回意見交換会前の打ち合わせ

時：令和 4 年 1 1 月 4 日（金） 1 3 時 3 0 分～1 6 時 場所：ミニホール

出席者：尼崎市大庄地域課 3 名、公園維持課 2 名

東邦レオ 4 名

< 議題 >

1 第 2 回意見交換会の振り返り

○各班のまとめ

⇒月 1 回程度、動物とふれあえる場があればいいのではないか。

子供会と元気村の情報共有がない。

子供たちが遊んでいる姿を見ながら、東屋のもとで、カフェがしたい。

防災機能をもった公園の位置付けということで 1 0 年前に決まっていたという意見があった。

大庄祭りができるようなスペースがほしい。

非日常で利用する公園を求めているのではない。

安心・安全な公園を求めている。

2 公園維持課からの意見

○公園に関する苦情

⇒音・匂い・ボール遊びが大部分を占めている。

地域の合意形成のもとで、地域のイベントとして、社会実験を実施したほうがいいのではないか。

○広島市街区公園指定管理者制度

⇒公園許可の権限を地域に委ねる。(メリット)

3 ゾーンプランニング作成にあたっての設定条件

○近隣公園としての位置付け

○コミュニティスペースも公園的な設えの空間としてとらえる

○市内の公園は一時避難所として位置付けられている。

○体育館についても公園側に開いたスペースとしてとらえる。

○スポーツの試合等を行わない。

4 尼崎市における公園の管理手法

○地域自主管理

⇒公園の清掃・除草



[議事録] 第 3 回意見交換会前の打ち合わせ

日時：令和 4 年 1 1 月 1 5 日（火） 1 3 時 4 0 分～ 1 6 時 場所：コミュニティルーム
出席者：尼崎市大庄地域課 3 名、公園計画・21 世紀の森担当 3 名、スポーツ推進課 1 名
東邦レオ 4 名

< 議題 >

1 第 3 回意見交換会の進め方

○協働型公園の担い手

⇒可能性を探っていく回にしないといけない。

○平面計画図案・ゾンプランニング

⇒理由を示しながら、緩衝エリアや遊びエリアなどを設けたというような説明をしないと、理解できないまま進む懸念がある。

⇒コミュニティスペースの見せ方を空地にした方がいい。

○協議会（実行委員会）

⇒イベントを考える会（イベント実行委員会）のような集まりから入ればどうか。

清掃などを中心にしたような協議会であれば、人は集まらない。

維持管理ではなく、自由に利用できるというメリットを感じ、関心を持ってもらう。

⇒イメージ図を示す必要がある。（大庄地域課で作成し、東邦レオへ送付する。）

○トイレ（多機能付）

⇒意見をもらうためにもゾンプランニングに示しておく。

ジェンダーレスを意識した公園づくり

○駐輪場

⇒意見をもらうためにもゾンプランニングに示しておく。



[議事録] 第 3 回意見交換会前の打ち合わせ

日時：令和 4 年 1 1 月 2 2 日（火） 1 3 時 3 5 分～ 1 6 時 場所：会議室 1

出席者：尼崎市大庄地域課 3 名、公園計画・21 世紀の森担当 3 名、公園維持課 1 名
東邦レオ 4 名

< 議題 >

1 第 3 回意見交換会の進め方

○ゾンプランニング（案）

写真を載せるとイメージが先行するため、パワポで示すだけとし、地域の方の意見を聞きたい。
休憩・拠点ゾーンにトイレを入れてはどうか。議論をしておきたい。

○インクルーシブ遊具

⇒写真を掲載してはどうか。インクルーシブ遊具を知っている人はあまりいないと考えられる。

○資料の説明方法

⇒全体説明したあとに、意見交換の際に個別に確認を行う。

○コミュニティスペース

⇒現在のところ、植栽等は設置せず、土のグラウンドとする。ただし、園路は設置予定

○成文小学校アンケート

⇒手持ち資料とする。

○防災公園

⇒防災的な機能が含まれている公園を示す必要がある。基本的な考え方に追記する。

○説明・進行

①あいさつ（鳥生課長）

②前回の振り返り（中島）

③ゾーニング（平岡・小林）

④第 1 回目のこれまでの振り返り（中島）・意見交換会

⇒論点整理は地域から出てきた意見ということをお願いし思い出してもらうため、配布する。

⑤意見交換会

日時：令和 4 年 1 1 月 2 5 日（金） 1 3 時 3 5 分～ 1 5 時 3 0 分 場所：ホール・会議室 1

出席者：尼崎市大庄地域課 3 名、公園・21 世紀の森担当 2 名、公園維持課 1 名、ファシリティマネジメント
推進担当 1 名
東邦レオ 4 名

< 議題 >

1 第 3 回意見交換会の進め方の確認（ホール）

2 社会実験の取組に向けた基本的な考え方（会議室 1）

1 年目 事務局が事業を推進していくために、実験実施にあたり、一定リース代等で費用が必要。

2 年目 協働型公園実現に向けての実行委員会の組織化に向けての支援が中心。

第3回意見交換会まとめ

令和4年11月27日(日)10:00-12:00に開催した第3回目の意見交換会は総勢28名の方にご参加いただきました。これまでの意見交換会や成文小学校アンケート等でいただいた多数の意見をもとに、ゾンプランニングを作成しました。(ゾンプランニングについてはニュースレターに記載)そのゾンプランニングに対して地域の皆様から意見をいただき、今後の公園を運営していくうえで重要な「(新)南の口公園で何しよう?」実行委員会のイメージ図やどう関わっていくかなど、これまでよりも具体的な話で盛り上がりました。

ゾンプランニングについては皆様から前向きな意見をいただき、実行委員会については、参加したいといった意見が早くも出た一方で、周辺の地域住民しか使わない、みんなが使いにくい公園にならないかといった意見も頂戴し、今後実行委員会を運営するにあたって気を付けるポイントを再認識でき、社会実験を通じて、いろいろと試していこうと思えました。

公園で何しよう?アイデア大募集
新しい公園の配置を考えよう!

大庄西中学校の跡地にできる新しい公園について意見交換会を開催します。*南の口公園が完成し子供から大人まで、まちのみなぞまのご意見お待ちしております!

11/27(日) 10:00-12:00 **随時受付**

場所: 大庄北生涯学習プラザ 3階ホール

定員 50名 申込 ①氏名 ②住所(町名まで) ③電話番号 ④⑤をメール、電話、FAX 窓口持参でお知らせください

年間スケジュール テーマは後日公開します。

第1回 9/23 FRI 第2回 10/29 SAT 第3回 11/27 SUN 第4回 1/14 SAT 第5回 2/18 SAT

主催: 尼崎市大庄地域課 公園計画・21世紀の森担当 運営: 東和レオ株式会社
問合せ先: 尼崎市大庄地域課(大高3-9-25 大庄北生涯学習プラザ)
電話: 06-6419-8221 FAX: 06-6419-8226 Mail: ama-osyo-chilik@city.amagasaki.hyogo.jp

▲案内チラシ

▼当日の意見交換会の流れ

01 4チームに分かれる	02 自己紹介をする	03 ゾンプランニングについて意見交換する	04 公園運営について意見交換する	05 みんなで共有する
---------------------	-------------------	------------------------------	--------------------------	--------------------

第3回ワークショップ各班まとめ

F	チーム	メンバー	ゾンプランニング	実行委員会
	勝谷北富	A	<ul style="list-style-type: none"> ・素晴らしい ・植栽が多すぎると夜怖くなるかも。(バランス) ・近隣とのコミュニケーション ・子どもとおじいちゃんおばあちゃんがコミュニケーション取れるように 	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会についてはみんな参加したい。 ・大人がマナー悪いから、背筋を正さないとイケない ・地域の方へのアプローチは地域の方で行うような実行委員会になれば良い。 ・ドッグランがあることによって、公園に徒歩で行くようになり、ゴミ拾いを道中で行ったり、地域のパトロールを行えるようになっていきたい。 ・協働型公園を目指していきたい。
	喜多新川	B	<ul style="list-style-type: none"> ・アプローチと駐輪場を東側にも欲しい。 ・ガラの悪い人が夜たまつてると怖いので、門をつけてほしい。 ・ベタンクで芝生が傷むので、土ゾーンが欲しい。道具収納できる倉庫も欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その周辺地域の人しか使えない、実行委員会限定の公園になってしまうのは、公園としておかしいので、そこは不安。 ・アクティブじゃない老人も使える公園にしてほしい。(朝夕で時間帯による使用わけが出来たらいいんじゃないか。) ・継続していかねばならないとなった時に、実行委員会はかなり重要である。 ・子どもたちも、ベタンクと一緒に楽しめるようになるのであれば、イメージも変わりそう
	三浦程塚	C	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びゾーンが少し狭い印象。 →実証実験で感覚をつかんで行けると良いんじゃないか。 ・駐輪場は多めに欲しい ・トイレはなし 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜の治安が不安なので、24時間開放するかどうかなどは検討したい。
	中島平岡	D	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなみ景観の並木について、落ち葉問題が地域住民の負担になっているので、並木の位置の工夫や清掃の予算増額等をしてほしい。 ・公園の中心に固定物があるのは避難時に邪魔になるのでは? ・そもそもの公園のベースをまっさらにする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夢のある話をどんどんしていこう。(橋本会長)

第3回意見交換会の様子

1. 前回の振り返りとゾーンプランニング案の公表

前回の意見交換会を振り返り、意見を踏まえて作成した公園のゾーンプランニングを公表しました。また、協働型公園を運営していくにあたり必要になる「(新)南の口公園で何しよう？」実行委員会についても説明し、今後の進め方についても共有しました。



2. 意見交換会

これまでの意見を踏まえて作成した「ゾーンプランニング」「(新)南の口公園で何しよう？実行委員会」の2つのテーマについて意見交換を行いました。終始前向きな意見が多く、楽しい雰囲気意見交換会を行うことができました。

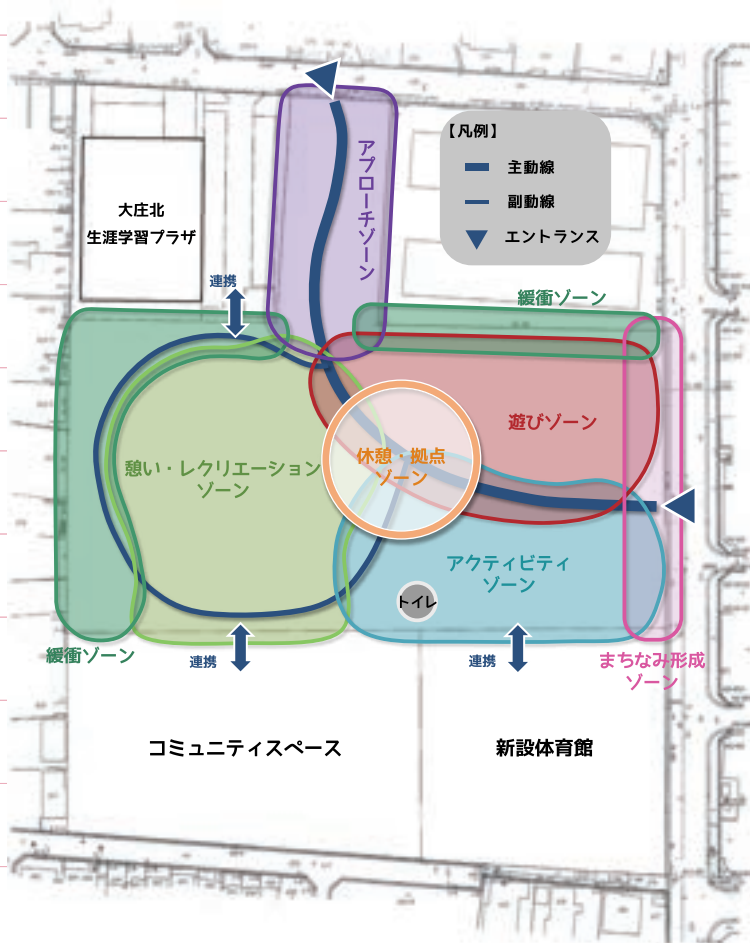


3. 放課後「お菓子拵み取り」

意見交換会終了後は、前回大好評だったお菓子の拵み取りを開催しました。



ゾーンプランニング



遊びゾーン

道路に面し、公園内外の見通しが確保できるエリア。主に子どもの遊び場になるゾーンとします。

「主な利用イメージ」

- ・ 遊具類（タコ遊具、インクルーシブ遊具等）
- ・ 水の遊び場 等

アクティビティゾーン

新設体育館に面し、相互連携を図ることができるエリア。

アクティブな活動のためのゾーンとします。

「主な利用イメージ」

- ・ バスケットコート
- ・ キッチンカー出店、マルシェ（イベント時） 等

アプローチゾーン

南北に細長い敷地形状を活かし、来園者を公園中央部に導くゾーンとします。

「主な利用イメージ」

- ・ 駐輪スペース・健康遊具・修景植栽 等

まちなみ形成ゾーン

道路に接する東側でまちなみ形成に貢献するゾーンとします。

「主な利用イメージ」

- ・ 並木等による景観形成 等

緩衝ゾーン

周辺の住宅地や施設等との緩衝のためのゾーンとします。

「主な利用イメージ」

- ・ 中低木による植栽 等

憩い・レクリエーションゾーン

計画地のなかで、最も広くまとまったエリア。誰もが多目的に使えるゾーンとします。

「主な利用イメージ」

- ・ 広場（芝生、土のグラウンド等）
- ・ 運動、スポーツ
- ・ 地域のイベント開催 等

休憩・拠点ゾーン

「憩い・レクリエーション」「遊び」「アクティビティ」の3つのゾーンを見渡せる中心的なエリア。休憩や公園内の滞留の場となるゾーンとします。

「主な利用イメージ」

- ・ パーゴラ・ベンチ
- ・ 水飲み・手洗い 等



〔 議事録 〕 第 4 回意見交換会前の打ち合わせ

日時：令和 4 年 1 2 月 1 日（木） 1 3 時 3 0 分～1 5 時 3 0 分 場所：会議室 1

出席者：尼崎市大庄地域課 3 名

東邦レオ 1 名

< 議題 >

第 4 回意見交換会（公園で何しよう？）

1 第 3 回意見交換会の振り返り

○公園の正式名を決めることができなければ、愛称募集をするのもいいのではないかといった意見があった。
（公園計画・21世紀の森担当確認）

○全体を通して、ゾーンプランニングに対して否定的な意見はなかった。

○実行委員会についても、参画したいという意見もA班ではあった。

2 イメージパース

○コミュニティ広場の動線は2カ所、植栽はなし。土のグラウンドとする。

○日常のイメージパース、イベント時のイメージパースを示す。（線画）

○体育館については、現時点で確定した図面はない。前回示した図面程度である。

○次の意見交換会まで1カ月しかないので、着色はなしで線画で示す。

3 その他

○パースのスケジュール

13日 アングルで示していく。

20日 線画で示していく。

○今後実施する意見交換会では、実行委員会の立ち上げを意識して進めていく。

日時：令和 4 年 1 2 月 1 3 日（火） 1 3 時 3 0 分～1 4 時 4 5 分 場所：会議室 1

出席者：尼崎市大庄地域課 3 名、公園計画・21世紀の森担当 1 名、公園維持課 1 名、

東邦レオ 2 名

< 議題 >

第 4 回意見交換会（公園で何しよう？）

1 パースアングル案

A案・・・俯瞰的に見て全体が見える。日常の公園を見せる。

B案・・・A案・C案と中間のアングル。

C案・・・東よりに見せている。キッチンカー、マルシェをバスケットコートに配置するなど。

⇒A案・C案をパースアングルとして見せていく。

2 社会実験案

イメージを具現化するために、A1若しくはA0の図面上に、はがきサイズの風景カード（写真）*を載せていく。

一方で、事務局サイドとしては、来年度実施する社会実験の候補を絞り込んでいく。

複合遊具をカードにいれると、どの班も採用することが想定されるので、入れず、組み合わせてもらい議論の余白にする。

レオから写真を送るため、維持管理・安全管理の観点から、公園維持課で選別する。



〔 議事録 〕 第 4 回意見交換会前の打ち合わせ

日時：令和4年1月6日（金）13時30分～15時30分 場所：小会議室

出席者：尼崎市大庄地域課2名、公園計画・21世紀の森担当2名、公園維持課1名

東邦レオ3名

< 議題 >

1 社会実験

令和5年度大庄西中学校跡地活用に向けた社会実験の概要に基づき、以下の内容で説明を行うとともに、情報共有を図った。

第5回意見交換会で、次年度につなげていくため、説明を行っていくことになった。

2 風景カード

キャッチボール、サッカー、掲示板の写真を修正した。

⇒公園部署からは修正案で問題ないとのことであったため、印刷発注することになった。

ホールには、はじめから机・椅子・白地図・風景カードを設置しておく。

ワークショップの完成物をホールの出口に設置し、参加者に他のグループの完成物を見てもらい、共有を図っていく。

3 白地図

白地図のうえに、風景カードを置いていく。

4 スライド

ワークショップの流れの最後に、3階ベランダから大庄西中学校の更地の現況を見てもらうことになった。

日時：令和4年1月13日（金）13時30分～15時30分 場所：ホール

出席者：尼崎市大庄地域課2名、公園計画・21世紀の森担当3名

東邦レオ2名

< 議題 >

1 リハーサル

前回の振り返りをする際、ゾーンプランニング・実行委員会について意見があった内容を口頭で加えることになった。

（ゾーンプランニング）

○植栽が多すぎると夜怖い。駐輪場を設置してほしい。遊びゾーンが少し狭い印象。並木については、落ち葉の問題が出てくる。アプローチゾーンはこれまでどおり東側でお願いします。

（実行委員会）

○大人がマナー悪いいため、まずは大人からマナーを守るべき。騒音、犬のマーキング、喫煙などマナーの意識付け

ドッグランがあることにより、公園に徒歩で行くようになり、ごみ拾いを道中で行ったり、地域のパトロールを行っていきたい。

○協働型公園を継続して実施していくならば、実行委員会は重要

2 ワークショップ

各グループにおいて、ステッカーを線図に貼る際、市職員が付箋になぜ、そのステッカーにしたのかを記載するとともに、公園を利用しただけなのか、または実行委員会のメンバーになって取り組んでいきたいのかといったことを引き出すように持っていく。

3 第5回意見交換会

集大成の報告会は1時間程度におさめることとし、子供たち向けに芝生広場でモルックなどのイベントを実施する方向で調整を行った。

第4回意見交換会まとめ

令和5年01月14日(土)10:00-12:00に開催した第4回目の意見交換会は総勢34名の方にご参加いただきました。「将来の公園をイメージしよう」というテーマでワークショップを行いました。仮で作成したイメージパースのアングルをもとに、グループごとに風景カードや付箋を使い、イメージパースに「どんなコト」が起きていたかなど、理想の公園の風景を作成しました。



公園で何しよう？アイデア大募集！！
 公園の将来像をイメージしよう！

大庄西中学校の跡地にできる新しい公園について意見交換会を開催します。*他の公園が大好きな子供から大人まで、まちのみなとまのご意見お待ちしております！

01/14(土) 10:00~12:00

随時受付

場所：大庄北生涯学習プラザ 3階ホール

年間スケジュール テーマは各自公開します。

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
9/23	10/29	11/27	1/14	2/18
FRI	SAT	SUN	SAT	SAT

主催：尾崎市大庄地域課 公園計画・21世紀の森担当 運営：東邦シオ株式会社
 問合せ先：尾崎市大庄地域課（大島3-9-25 大庄北生涯学習プラザ）
 電話：06-6419-8221 FAX：06-6419-8226 Mail：ama-osyo-chiiki@city.amagasaki.hyogo.jp

▲案内チラシ

▼当日の意見交換会の流れ

01

テーブルごとに分かれる

02

自己紹介をする

03

イメージパースをつくる

04

みんなで共有する

▼各班のイメージパースシート



■Fチームのコメント

子供にやさしい公園のシンボルになるような遊具が欲しい！



■Cチームのコメント

コミュニティスペースも活用した
ドッグランやマルシェのイベント開催

第4回意見交換会の様子

1. 前回の振り返りと仮のイメージパースの公表

前回の意見交換会を振り返り、意見を踏まえて作成したイメージパースを公表しました。イメージパースには活用が何も描かれていない段階で公表し、地域の方に風景を描き込んでいくワークショップ形式の意見交換会を行いました。



2. 意見交換会

これまでの意見を踏まえて作成したイメージパースを机に並べ、意見の多かったものを事前に用意した風景カードと付箋を使い、各場所でどんなことが起きていて欲しいかや、使いやすい公園になるように絵について意見をいただいたりしました。



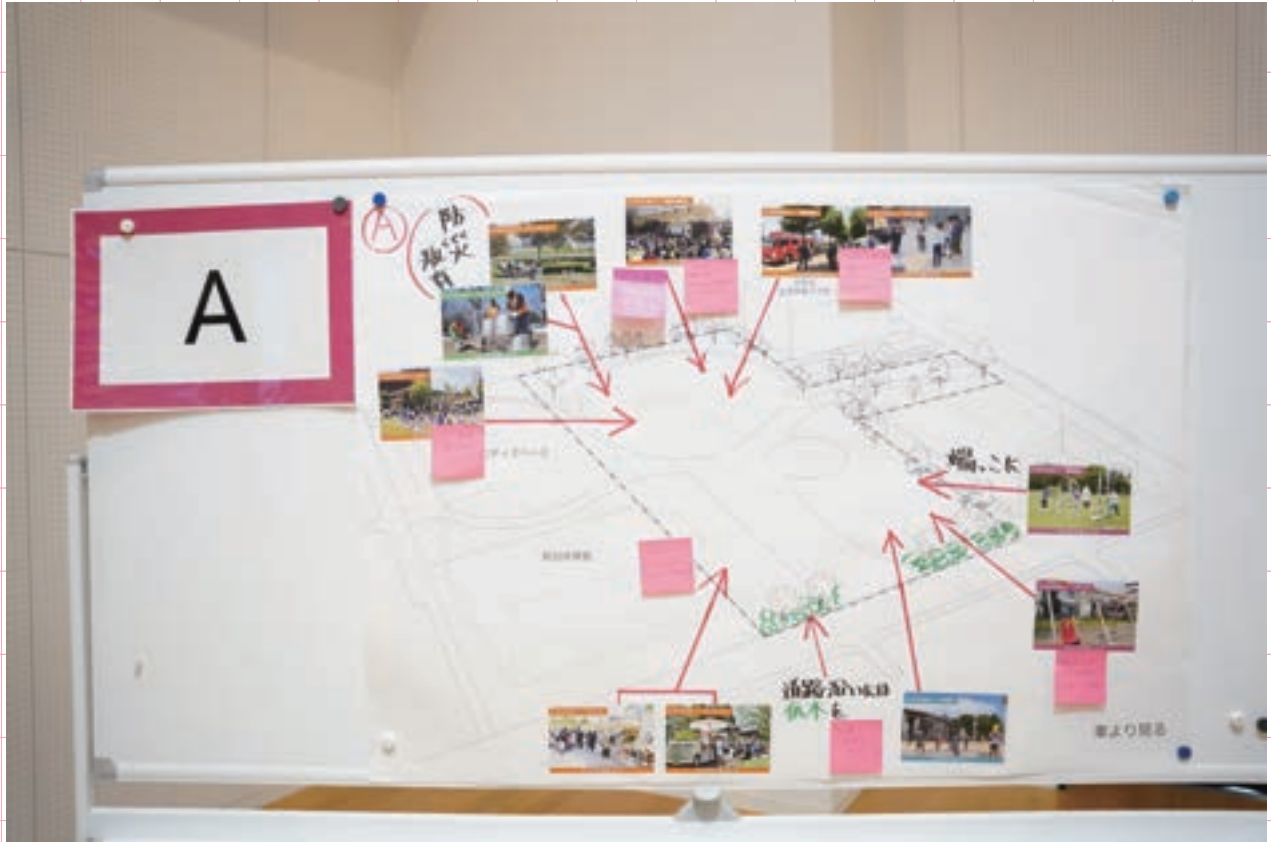
3. 放課後「お菓子拵み取り」

今回も意見交換会終了後は、前回も大好評だったお菓子の拵み取りを開催しました。



各班の意見 1/4

▼Aチームのワークショップシート



▼Bチームのワークショップシート



各班の意見 2/4

▼Cチームのワークショップシート



▼Dチームのワークショップシート



各班の意見 3/4

▼Eチームのワークショップシート



▼Fチームのワークショップシート



各班の意見 4/4

▼Gチームのワークショップシート





[議事録] 第 5 回意見交換会前の打ち合わせ

日時：令和 5 年 1 月 1 9 日（木） 1 3 時 3 0 分～1 5 時 3 0 分 場所：コミュニティルーム

出席者：尼崎市大庄地域課 3 名、公園計画・21 世紀の森担当 2 名

東邦レオ 4 名

< 議題 >

1 第 4 回意見交換会振り返り

2 イメージパース

○トイレの配置図（バスケットコート西側）は、現時点で示しておくことになった。

○ステージは屋根なし。1 段上がりくらいの縁台をイメージ

○石碑は移動させる方向で調整しているため、石碑に関するパースは記載しない。

○水の遊び場のイメージパースで、池やせせらぎが流れている状況は記載しない。

○イベント時の一例として、コミュニティスペースでドッグランを実施している状況を示す。

○西側住宅の事業者に対して、公園ができる旨を伝えてほしい。（久保田所長⇒春田課長）

○第 5 回意見交換会までに、都度、イメージパースの確認を行っていくことになった。

3 アンケート

○「南の口公園に関わりたかった。」項目は重要であることから、関わりたい人は名前・連絡先を記載してもらおう。

○5 段階評価にしていく。

○その他、グループワークの司会進行者についての質問項目を追加することになった。

4 第 5 回意見交換会

集大成の報告会は 1 時間程度におさめることとし、子供たち向けに芝生広場でモルックなどのイベントを実施する方向で調整を行った。

体育館の概要説明については、プログラムの最後に説明する方向で資料に記載していく。

日時：令和 5 年 1 月 2 7 日（金） 1 3 時 3 0 分～1 5 時 1 5 分 場所：会議室 1

出席者：尼崎市大庄地域課 3 名、公園計画・21 世紀の森担当 2 名

東邦レオ 3 名

< 議題 >

1 イメージパース

○ステージの高さは 4 0 ～ 5 0 センチを想定

○プラザは着色し、建築の形を反映する。

○プラザ駐車場にブース・テントを設置するなどし、イベント時には公園との連携が視覚的に見えるようにする。

○日常シーンにキッチンカーを置いている理由：協働型公園だからこそできるということ。

○日常シーン（休日）という表現にする。

○公園の中心にシンボルツリーを設置する。小さい木を成長させていくイメージ。

2 第 5 回意見交換会の進め方

○最初に本日の意見交換会のスケジュールを説明する。

* 体育館のことが確認したい人は意見交換会終了後、所管課から概要説明がある旨を最初に伝えておくことが重要

○ホールの設えを展示会的に 1 回目～4 回目までの意見交換会ブースを設置しておき、見学してもらう。

○意見交換会集大成の報告をする。

○その後、芝生広場・コミュニティルームでレクーションを実施



[議事録] 第 5 回意見交換会前の打ち合わせ

日時：令和 5 年 2 月 3 日（金）15 時～16 時 15 分 場所：会議室 1

出席者：尼崎市大庄地域課 3 名、公園維持課 1 名

東邦レオ 4 名

< 議題 >

1 イメージパース

①平常時のパースにおけるコミュニティスペースに着色してほしい。

了解済。ただし、芝生はなくていい。

②パースに人を入れるかどうかについては、都計審の資料の観点から、公園計画担当に確認する。

【確認】

③老健施設の南東側に桜の木 4 本を残しているの、桜の木を入れてほしい。（解体工事説明時に桜の木を残してほしい要望があり、残しているため。）

桜の木を入れる方向で調整することとなった。

④パースの中央に設置するベンチについて、かまどベンチとして認識できる絵にしてほしい。

鳥観図では詳細にできないことから、現状のままでいくこととなった。

⑤防災キャンプあたりのテントに色が入っていないため、着色してほしい。

イベント時のテントと防災キャンプのテントの違いで色分けしているため、現状のままでいくこととなった。

⑥日常時（休日）、イベント時、イベント時 V E R 2 のパースすべてに注釈を入れてほしい。

イメージパースには注釈は入れない。

ただし、資料の中には「意見交換会で出た意見を集約したもの」、「石碑については移設の方向で調整中」である旨を明記していくこととした。

⑦水遊び場の色を薄い赤色を青色にしてほしい。

日時：令和 5 年 2 月 10 日（金）14 時～15 時 5 分 場所：会議室 1

出席者：尼崎市大庄地域課 3 名、公園計画・21 世紀の森担当 1 名

東邦レオ 3 名

< 議題 >

1 第 5 回意見交換会の進め方

鳥生課長あいさつ後、平岡と中島氏で掛け合いをしながら参加者に説明していく。

なお、スライドの最後に、「来年度からの取り組みについて」を説明する際に、実行委員会において、公園及びコミュニティスペースの利活用を検討し、社会実験を実施していく旨を説明し、意見交換会を終えることとなった。



[議事録] 第 5 回意見交換会前の打ち合わせ

日時：令和 5 年 2 月 1 0 日（金） 1 4 時～ 1 5 時 5 分 場所：会議室 1

出席者：尼崎市大庄地域課 3 名、公園計画・21 世紀の森担当 1 名

東邦レオ 3 名

< 議題 >

1 第 5 回意見交換会の進め方

鳥生課長あいさつ後、平岡と中島氏で掛け合いをしながら参加者に説明していく。

なお、スライドの最後に、「来年度からの取り組みについて」を説明する際に、実行委員会において、公園及びコミュニティスペースの利活用を検討し、社会実験を実施していく旨を説明し、意見交換会を終えることとなった。

日時：令和 5 年 2 月 1 7 日（金） 1 3 時 3 0 分～ 1 5 時 3 0 分 場所：会議室 1

出席者：尼崎市大庄地域課 1 名、公園計画・21 世紀の森担当 2 名

東邦レオ 3 名

< 議題 >

1 第 5 回意見交換会の進め方

鳥生課長あいさつ後、平岡と中島で掛け合いをしながら参加者に説明するほか、参加者から感想をもらう時間も合間に入れるようリハーサルを行った。

2 その他

コミュニティスペースにおいて、展示ブースの設営を行った。

以下第 5 回意見交換会終了後

日時：令和 5 年 3 月 1 3 日（月） 1 6 時～ 1 7 時 3 0 分 場所：会議室 1

出席者：尼崎市大庄地域課 2 名、公園計画・21 世紀の森担当 3 名・公園維持課 1 名

東邦レオ 4 名

< 議題 >

1 第 5 回意見交換会の振り返り

- ・イメージパスについて、参加者の同意を一定得たことを全員で確認した。

2 業務委託成果報告書について

- ・今後、中島（尼崎市）と平岡（東邦レオ）の事務担当者同士で詰めて、業務委託成果報告書をまとめていくことを確認した。

3 R 5 年度実施する社会実験について

- ・まずは、社会実験実施にあたって、参加希望者 1 5 名を集め、今後の展開について会議をしていく方向で検討していく。
- ・そのうえで、幅広く社会実験参加者を募っていければ、公平性の観点でも円滑に進むと考えられる。
- ・実験は、4 回実施予定で、10 月から 1 月にかけて行うことを想定している。
- ・先進地（新京極公園・草津川跡地等）の視察をしてはどうか。
- ・実行委員会についてボランティアでは、いずれはつぶれる可能性が高いので、資金を稼ぐ仕組み作りの検討が必要になる。
- ・自走できる仕組み作り。

4 社会実験に向けた支援事業者募集について

- ・選定会議を早くしていく予定
- ・募集は、4 月には行っていく。

第5回意見交換会まとめ

令和5年02月18日(土)10:00-12:00に開催した第5回目の意見交換会は総勢38名の方にご参加いただき、5回の開催で計137名の参加者にご意見をいただくことができました。いただいたたくさんの意見をもとに、今年度の集大成として【日常(休日)】【イベント時】の2カットのイメージパースを作成し、公表しました。地域の方々が集い、賑わうイメージパースのような風景になるように運営ルール等を地域の皆様と進めていきます。

発表後は、今年度頂いたみなさまからのアイデアや描いてもらった公園の将来像などを展示しました。みなさまと懐かしいアイテムを見ながら振り返りを行うと同時に、意見交換が行われる場面も見られました。これまでと違った形式で意見交換を行い、ざっくばらんに対話をすることができ、有意義な時間となりました。来年度の活動もこのように振り返りができるように可視化をしていき、皆様とより一層意見交換ができるよう努めていきます。



公園で何しよう? アイデア大募集!
集大成! これまでの振り返りと成果発表

大庄西中学校の跡地にできる新しい公園について意見交換会を開催します。※奥の公園が仮想的に子供から大人まで、まちのみなさまのご意見お待ちしております!

02/18(土) 10:00~12:00 随時受付

場所: 大庄北生涯学習プラザ 3階ホール

定員 50名 申込 ①氏名 ②住所(町名まで) ③電話番号 ④申込メールアドレス、電話、FAX ⑤窓口持参でお知らせください

年間スケジュール (テーマは各自公開します)

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
9/25	10/29	11/27	1/14	2/18
日	SAT	SUN	SAT	SAT

主催: 尾鷲市大庄地域課 公園計画・21世紀の森担当 運営: 楽利才株式会社
問合せ先: 尾鷲市大庄地域課(大島3-9-25 大庄北生涯学習プラザ)
電話: 06-6419-8221 FAX: 06-6419-8226 Mail: ama-osyo-chiiki@city.amagasaki.hyogo.jp

▲案内チラシ

▼当日の意見交換会の流れ

<p>01</p> <p>これまでの振り返り</p>	<p>02</p> <p>イメージパースの発表</p>	<p>03</p> <p>ワークショップ展示会</p>	<p>04</p> <p>お菓子の抱み取り</p>	<p>05</p> <p>モルックで交流</p>
-----------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	----------------------------------	---------------------------------

▼イメージパース

☆[日常(休日)]

☆[イベント時]



☆「上記のパー스는イメージです。社会実験を通じて公園整備内容の検証を行っています。」

第5回意見交換会の様子

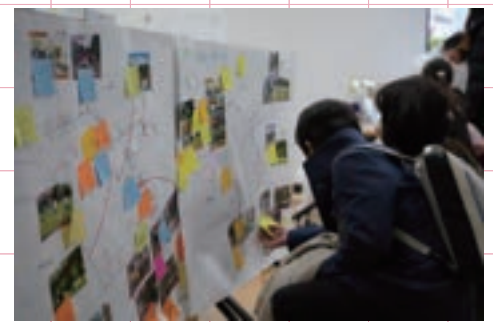
1. これまでの振り返りとイメージパースの公表

前回までの計4回にわたる意見交換会を振り返り、その意見を踏まえて作成したイメージパースを公表しました。今回は描かれてなかった風景（人の姿等）が追加されました。これから実現に向けて取り組んでいく公園の絵が出来上がりました。



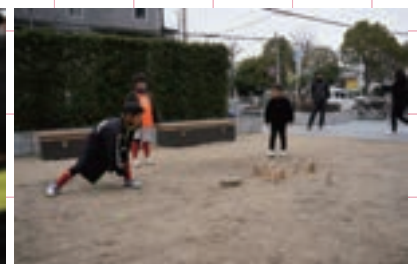
2. ワークショップ展示会

これまでに使用したアイテムや今年度頂いたみなさまからのアイデアや描いてもらった公園の将来像などを展示しました。



3. 放課後「お菓子拵み取り」「モルック」

今回も意見交換会終了後は、大好評のお菓子の拵み取りとモルック大会を開催しました。初めは少なかった地域の子供たちも最後にはたくさん参加いただき老若男女幅広い意見をいただくことができました。



イメージパース [日常 (休日)]



☆「パースはイメージです。社会実験を通じて公園整備内容の検証を行っています。」

▼吹き出しにて解説





イメージパース [イベント時]



☆「パースはイメージです。社会実験を通じて公園整備内容の検証を行っています。」

▼吹き出しにて解説

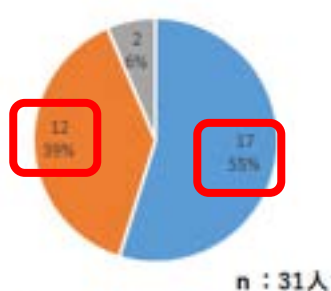


「公園で何しよう？意見交換会アンケート」集計結果

1. 意見交換会について

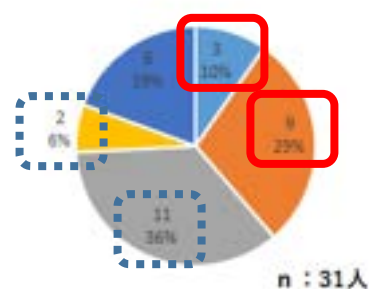
- ① 意見交換会について、**29人（94%）**が参加してよかったと評価している。
- ② 意見については、**12人（39%）**が意見を十分に言えたと回答しているが、一方で、**13人（42%）**があまりそう思わない・そう思わないと回答している。
- ③ 時間については、20人（66%）が適当と回答している。
- ④ 資料については、24人（83%）が分かりやすかったと回答している。
- ⑤ 内容については、**25人（87%）**が賛同できると回答している。
- ⑥ 様々な考え方について、27人（90%）が知ることができたと回答している。

① この意見交換会に参加してよかった。



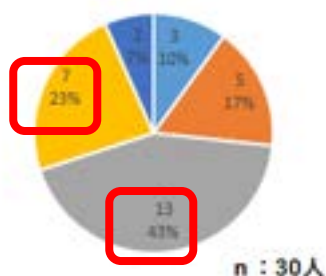
■ そう思う ■ 概ねそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 分からない

② 意見を十分に言えた。



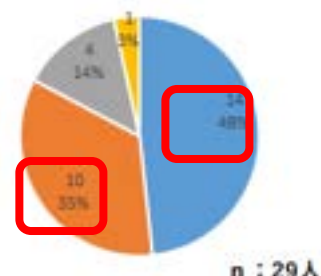
■ そう思う ■ 概ねそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 分からない

③ 時間が足りなかった。



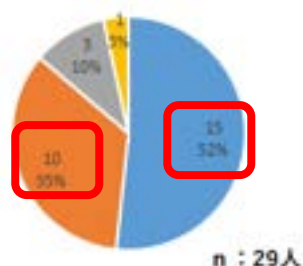
■ そう思う ■ 概ねそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 分からない

④ 分かりやすい資料だった。



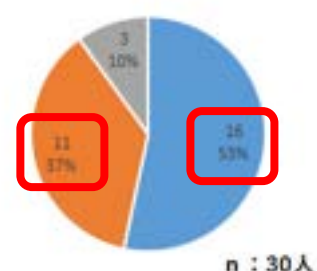
■ そう思う ■ 概ねそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 分からない

⑤ 賛同できる内容だった。



■ そう思う ■ 概ねそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 分からない

⑥ 様々な考え方を知ることができた。

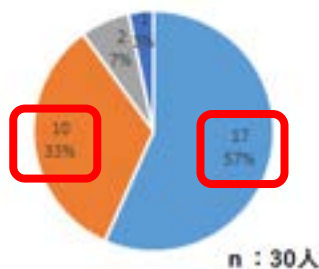


■ そう思う ■ 概ねそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 分からない

2. 司会進行について

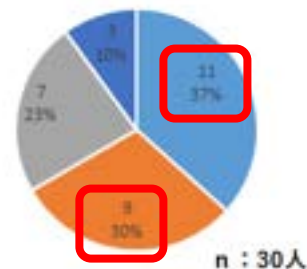
- ① 進行については、参加者 27 人 (90%) が分かりやすかったと評価している。
 ② ワークショップ参加者は、20 人 (67%) が話しやすかったと回答している。

① 分かりやすい進行だった。



■ そう思う ■ 概ねそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 分からない

② 話しやすかった。

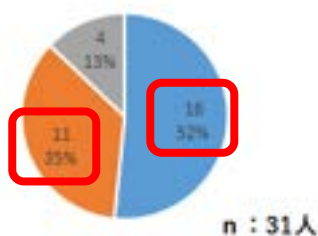


■ そう思う ■ 概ねそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 分からない

3. 意見交換会の成果について

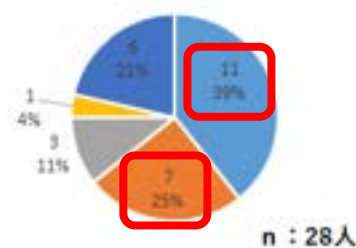
- ① 協働型公園については、参加者 27 人 (87%) が見方・考え方が広がったと評価している。
 ② (新) 南の口公園の活動に関わりたかった人は、18 人 (64%)であった。

① 協働型公園に対する見方・考え方が広がった。



■ そう思う ■ 概ねそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 分からない

② (新) 南の口公園の活動に関わりたかったと思った。



■ そう思う ■ 概ねそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 分からない

4. 意見交換会の総括について

- ① 大庄西中学校跡地における協働型公園及びコミュニティスペースのイメージパース・ゾーニング等については、参加者等と一定合意形成を図ることができた。(勉強会・意見交換会参加者数 178 人 (累計))
 ② R5 年度以降実施する社会実験に参画し、協働型公園及びコミュニティスペースを官民連携で関わっていききたいという機運が参加者に芽生えてきている。(具体的に、大庄地域課に 15 人の参加者から申し入れがあった。)

以上



今後の方向性

本意見交換会の中で参加者からいただいたご意見等に関しては、令和5年度から2年間の社会実験等を通じて、やりたいコトを実現するためのルール作りや「(新)南の口公園で何しよう？」実行委員会の立ち上げ、公園の設計等の参考とし、より良い公園になるよう検討していきます。

【主なスケジュール】

令和5年度	社会実験
令和6年度	社会実験、公園設計
令和7年度	工事着手
令和8年度	供用開始

各回のニューズレター

ワークショップの流れ

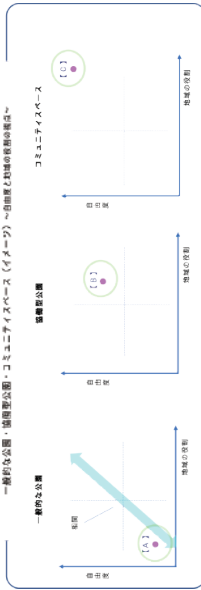
1. これまでの振り返り
2. 公園の事例
3. 意見交換の準備
4. 意見交換・発表
5. 今後の予定について
6. 焼きマッシュマロ体験

これまでの振り返り

前回来でのワークショップで配置案が決定しました。約10,000㎡の公園は、協働型公園の可能性を探るためにこれから話し合っていきます。

協働型公園は、一般的な公園に対して、地域の皆様に公園管理の一部を担っていただく代わりに、自由度も高く、使い勝手の良い公園とすることができま

す。協働型公園でも出来ない活動については、コミュニティスペースでの利用方法を考えていきます。新しい公園の将来像、利活用の方向性、空間、設備の整備内容やルール、管理運営などについて、これから決めていきます。



公園の事例

どんな利用方法が考えられるかが、明確になれば、公園のカたち(設計)が決まっています。今回は、地域の方々ワークショップを重ねて作られた、草津川跡地公園について説明しました。

今回のワークショップと同じように、公園の未来について地域の意見を参考にしながら、作り上げられた草津川跡地公園。完成までは、複数回の社会実験を通して、やりたいことに対する課題を明らかにしていったようです。熱心にメモを取っていた方も多く、これからが楽しみです。



大庄西中学校跡地に南の公園がお引越します。

「わたしたちの公園」として、より身近に感じていただけたように、市民のみなさんと一緒につくっていくワークショップがはじまりました。公園や新施設で何かやりたい、新しい出会いや発見のある場所にしたい、みんなが集まれるような場所にしたい、用事がなくてもちょっとなら行ってみたい、場所にした、そんな市民のみなさんの想いをかたちにしていく場です。

第1回目は「公園でのやりたいこと」について、「なぜ？」という部分を中心に意見交換を行いました。個人でも団体でも楽しめる公園づくりをめざし、みなさんからのいただいた意見を設計に反映していきます。



番号順に読んでいってね。

大庄西中学校跡地活用



NEWS LETTER 01

焼きマッシュマロ体験

ワークショップの後は、雨で芝生広場での開催とはなりませんでした。半屋外でマッシュマロを焼いて食べました。子どもたちも楽しんで、何度もおかわりをしました。和ろうそくで焚火を行いました。いい香りも煙も少なく楽しめました。公園内での焚火についても、においや煙に注意しながら、実施方法について考えて行きたいですね。



次回のご案内

やりたいことを実現するための方法を考えよう！

10.29(土) 10:00-12:00

今後の予定

第1回 9.23(土)	やりたいことを出そう！
第2回 10.29(土)	やりたいことを実現するための方法を考えよう！
第3回 11.27(土)	(予定) 公園内の配置を検討しよう！
第4回 1.14(土)	(予定) みんなで将来の公園をイメージしよう！
第5回 2.18(土)	(予定) みんなで育てる公園の運営ルールを考えよう！



第1回意見交換会ニュースレター

3 当日の意見交換の流れ

個人でこれから何かしてみたい方、大勢で何かしてみたい方、老若男女問わずバラエティー豊かな方々に参加いただきました。新しくできる公園をイメージしながら、どんな活動を公園でしていきたいか、“ナゼ”をしようか、参加者同士で交流を深めながら意見交換を進めました。



意見交換

新しい公園でどんな活動をしていきたいのか、まずは、同じ色の名札を選んだ方々で交流していただきました。その後、おまかなジャンルごとにグループを再編成し、似たようなこと、近いことを考えている方々で交流していただきました。同じやりたいことでも、違うジャンルだと判断していたり、“ナゼ?”の部分が違うだったり、様々な考え方を基にして、これからの公園づくりを考えていきます。



発表

それぞれのチームで出た意見をファシリテーターに発表してもらいました。どんな課題、どんなコトを、ナゼしたいのか、どんな話があったのかを、チームの中でどんな話が広がったのかを発表するうちに、最初持っていた意図と交流するうちに、最初に持っていた意図から少し変わったというようなものもありました。発表後は参加者の皆様から拍手が巻き起こりました。

01



色ごと、チームに分かれる

02



自己紹介をする

03



やりたいことを出し合う

04



ジャンルごとに分かれて話し合う

05



みんなで共有する

遊び

- 大人ができる運動遊具、子どものアスレチック
- 幼児から高齢者まで幅広く遊べる公園にしたい
- 大人も子どもも楽しめる公園
- 自由な発想が膨らむ。
- 想像力が発揮できる。

イベント

- ドッグランを作りたい。
- 犬とさんぽがしたい。
- イベント、盆踊り、ハロウィン、お化け屋敷、クリスマスなど。
- 犬が遊べる場所がない。
- 沢山飼っているから。
- 人が集える場所になるから。

健康

- バーベキュー
- サッカー
- ベタタンク
- 健康運動、さんぽ
- グラウンドゴルフ
- 健康寿命を延ばすため。
- 健康、友人とのコミュニケーションのため。

安心・安全

- アウトドア・ライフができる、キャンプができる。
- ゲリラ豪雨に備えて、地下に雨水を貯留し、その水を利用できるようにしたい。
- 自然を楽しみたい。
- 不便さを体験する。
- 朝陽・夕陽を見る。



誰一人取り残さず、孤立しない公園にしたい!

ルールを守つたら自由に遊べる公園にしたいな

利用者が共存し、考えて遊べる公園にしたいな...



次回以降の予定については、4を探してね!

4 ハロウィンのお菓子プレゼント

ハロウィン直前ということで、今回はワークショップの後、皆様にお菓子を配りました。同じタイミングでハロウィンのイベントに参加してくれた子どもたちにも、公園でやりたいことを自由にイラストに描いてもらい、お菓子を配りました。地域の子どもたちも含め、たくさんの方々が描いた理想の公園を実現できるようにしたいですね。



次回のご案内

公園内の配置（ゾーニング）

を検討しよう！

11.27 (日) 10:00-12:00

今後の予定

第1回 9.23	やりたいことも出そう！
第2回 10.29	やりたいことも実現するための方法を考えよう！
第3回 11.27	公園内の配置（ゾーニング）を検討しよう！
第4回 1.14	みんなを将来の公園をイメージしよう！
第5回 SAT 2.18	みんなを育てる公園の運営ルールを考えよう！

大庄西中学校跡地に南の口公園がお引越します。「わたしたちの公園」として、より身近に感じていただけたように、市民のみなさんと一緒に楽しくワークショップも第2回目となりました。公園や新施設で何かやってみたい、新しい出会いや発見のある場所にしたい、みんなが集まれるような場所にしたい、用事がなくともちょっど行ってみたいなる場所をしたい、そんな市民のみなさんの想いをかたちにしていこう場です。第2回目は「公園でのやりたいこと」をどうすれば実現できるか、絵にかいてもらいながら、意見交換を行いました。個人でも団体でも楽しめる公園づくりをめざし、みなさんからいただいた意見を設計に反映していきます。

1 番号順に読んでいってね。



発行元・お問い合わせ先

発行元・お問い合わせ先
 尼崎市大庄地域課
 公園計画・21世紀の森担当
 (大島 3-9-25)
 大庄北生涯学習プラザ
 電話：06-6419-8221
 FAX：06-6419-8226
 Mail：ama-osyo-chiiki@amagasaki.hyogo.jp

2

ワークショップの流れ

1. これまでの振り返り
2. 小学生やプラザの意見
3. やりたいことカードの記入
4. 意見交換・発表
5. 今後の予定について
6. ハロウィンのお菓子プレゼント

これまでの振り返り

これまでのワークショップの意見等を受け、大庄西中学校跡地の配置案が決定しました。跡地を、どのように計画していくかこれから考えて行きます。前回のワークショップでは皆さんから、公園でやりたいことについて、「なぜ」という部分に着目して考えてもらいました。遊び、健康、イベント、安心・安全の4チームに分かれてバラエティ豊かな、様々な意見を出していただきました。これからのワークショップで、新しい公園の活用方法、空間、設備の整備内容やルール、管理運営などについて、みなさんと決めて行きますよう。



小学生やプラザでの意見

どんな公園にしたいか、どんなことがやりたいのか、前回のワークショップの後に、プラザと地元の小学校から、たくさんの方の意見をいただきました。お年寄りも子どもも楽しめる公園という意見も見られました。子どもたちからの意見も大事にしなから、新しい公園を考えて行きますよう。





第2回意見交換会ニューズレター

3 当日の意見交換の流れ

前回のワークショップで出てきたやりとりカードをもとに、公園を広範囲、長時間専用する利用方法と、部分的、短時間の利用で、共用する利用方法とでグループ分けし、どのようにすれば、やりたいカードが実現できるか、それぞれのグループで考えられました。また、各グループで考えたことを、絵にまとめて共有してもらいました。

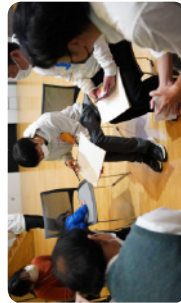
3



意見交換

新しい公園でどんな活動をしたいのか、新たに集めた地域の小学生約180人の意見を見ながら、改めてカードに記入してもらいました。その活動を、公園の利用の仕方グループ分けし、どのように実現させていくのか話し合ってもらいました。

今回の意見交換では、話し合ってもらった意見を絵にまとめて、皆さんで共有していただきました。



01

やりたいカードを書く



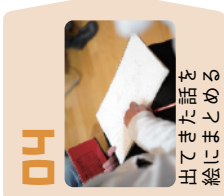
02

公園利用の仕方グループ分け



03

公園の使い方について考える



04

出てきた話を絵にまとめる

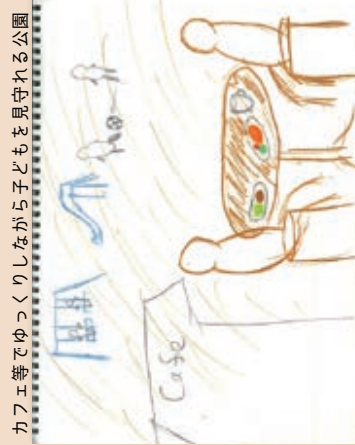


05

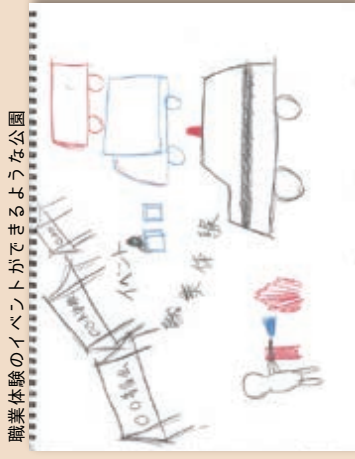
みんなで共有する



シンボルになる遊具があり、防災機能も備えた公園



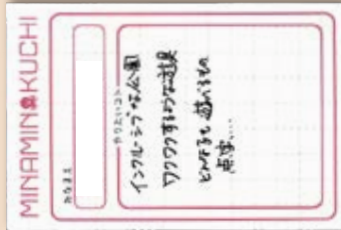
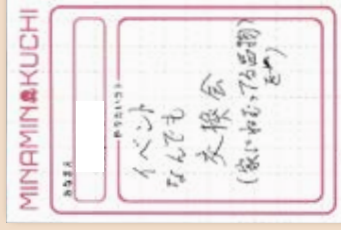
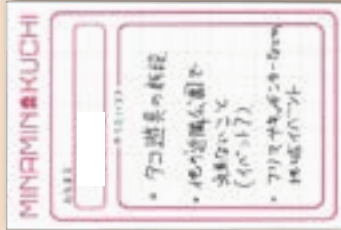
カフェ等でゆっくりしながら子どもを見守れる公園



職業体験のイベントができるような公園



顔が見える相手との物々交換ができる公園



発表

それぞれのチームで、皆さんがどんなことをしたいのか、どうすれば実現していけるのかを絵にまとめ、市の職員から発表がありました。絵があることで、グループで考えたことが皆さんでイメージをしっかりと共有できたと思います。参加してくれた皆様の意見だけでなく、周囲に住んでいる方々の意見も踏まえながら、これからの公園について考えて行きたいと思います。



「こどももママも楽しめる公園にしたい！」

「障がいの有無や年齢に関わらず自由に遊べる公園にしたいな」

「この遊具みたいなシンボルになるものが欲しいな...」

「災害に備えた防災公園にしたい！」

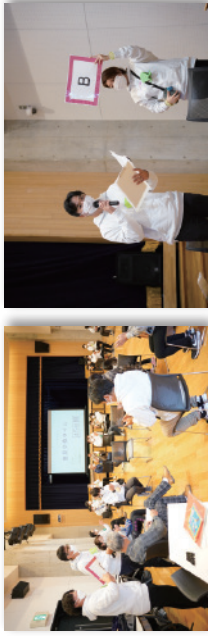
次回以降の予定については、4を探してね！



4

発表

それぞれのグループで、ゾーンプランニングに対して、思ったことや考えたことを共有していただきました。また、公園の実行委員会についても、参加したいかどうか、どのように運営していくかなどについて、意見交換していただきました。たくさんの方から、是非参加したいとの意見を頂けました。



次回のご案内

みんなで将来の公園の風景を
イメージしよう！

1.14 (土) 10:00-12:00

今後の予定

第1回 9.23	やりたいことを出そう！
第2回 10.29	やりたいことを実現するための方法を考えよう！
第3回 11.27	公園内の風景(イメージ)を検討しよう！
第4回 1.14	みんなが将来の公園の風景をイメージしよう！
第5回 2.18 SAT	(予定) みんなで育てる公園の運営ルールを考えよう！

大庄西中学校跡地に南の口公園がお引越します。「わたしたちの公園」として、より身近に感じていただけたら嬉しいです。市民のみなさんと一緒につくっていくワークショップも第3回目となりました。公園や新施設で何かやってみたい、新しい出会いや発見のある場所にしたい、みんなが集まれるような場所にしたい、用事がなくてもちょっどと行ってみたいくなる場所をしたい、そんな市民のみなさんの想いをかたちにしていく場です。第3回目は今までのワークショップで頂いたみなさんの意見をもとにゾーンプランニングを作成しました。新しくできる公園をイメージしながら、みなさんと意見交換を行いました。



1 番号順に読んでいってね。

大庄西中学校跡地活用



NEWS LETTER 03

発行元・お問い合わせ先

発行元
 尼崎市大庄地域課
 公園計画・21世紀の森担当
 (大島 3-9-25)
 大庄北生涯学習プラザ
 電話：06-6419-8221
 FAX：06-6419-8226
 Mail：ama-osyo-chiiki@amagasaki.hyogo.jp

2

ワークショップの流れ

1. これまでの振り返り
2. ゾーンプランニングについて
3. 実行委員会について
4. グループ分け・意見交換
5. 発表
6. 今後の予定について

これまでの振り返り

これまでのワークショップの意見等を受け、大庄西中学校跡地の配置案が決定しました。跡地を、どのように活用していくかこれから考えて行きます。前回のワークショップでは皆さんから、公園でやりたいことについて、どのようにすれば実現できるか、公園の利用方法でグループ分けし、考えていただきました。また、考えたことを絵にまとめてもらいました。公園の設備や、整備方法から考えたグループや、利用方法、ルールやイベントなどから考えたグループなど、様々な意見を共有していただきました。



「(新)南の口公園で何しよう?」実行委員会

(新)南の口公園は、大庄地域の中心に位置しており、地域コミュニティの核として、少子高齢化といった地域の課題解決や賑わいづくりについて貢献していく、一つの拠点となります。誰にとっても楽しい公園ライフとなるように、まずは市民、事業者、行政などが一緒になって、(新)南の口公園の利活用を考えていきます。公園を活用したイベントの実施や活動団体同士の連携、公園利用のスケジュールなどについて、この実行委員会を考えた、いままよう。また、公園利活用の幅を広げるための、公園独自のルール作りもここで考えていきたいと思います。



*新団体は、随時受け付けます。

3 当日の意見交換の流れ

これまでのワークショップで頂いたみなさんの意見や、地域の小学生から頂いた意見をもとにゾーンプランニングの作成を行いました。新しくできる公園をイメージしながら、より良い公園を目指して、意見交換を行いました。また、公園運営についても意見を頂きました。



ゾーンプランニング

道路に隣接する北側と東側を公園のエントランスとし、二つのエントランスを結ぶ動線を主動線とします。この主動線沿いに来園者が利用するためのゾーンを設定します。

隣接する大庄北生涯学習プラザ、コミュニティスペース、新設体育館とは連携が図れるよう動線や空間のつながりを作ります。また、災害時にも役立つ一定の機能（かまどベンチ等）を備えます。

アプローチゾーン

南北に細長い敷地形状を活かし、来園者を公園中央部に導くゾーンとします。

- 「主な利用イメージ」
- ・ 駐輪スペース
 - ・ 健康遊具
 - ・ 修景植栽 等

憩い・レクリエーションゾーン

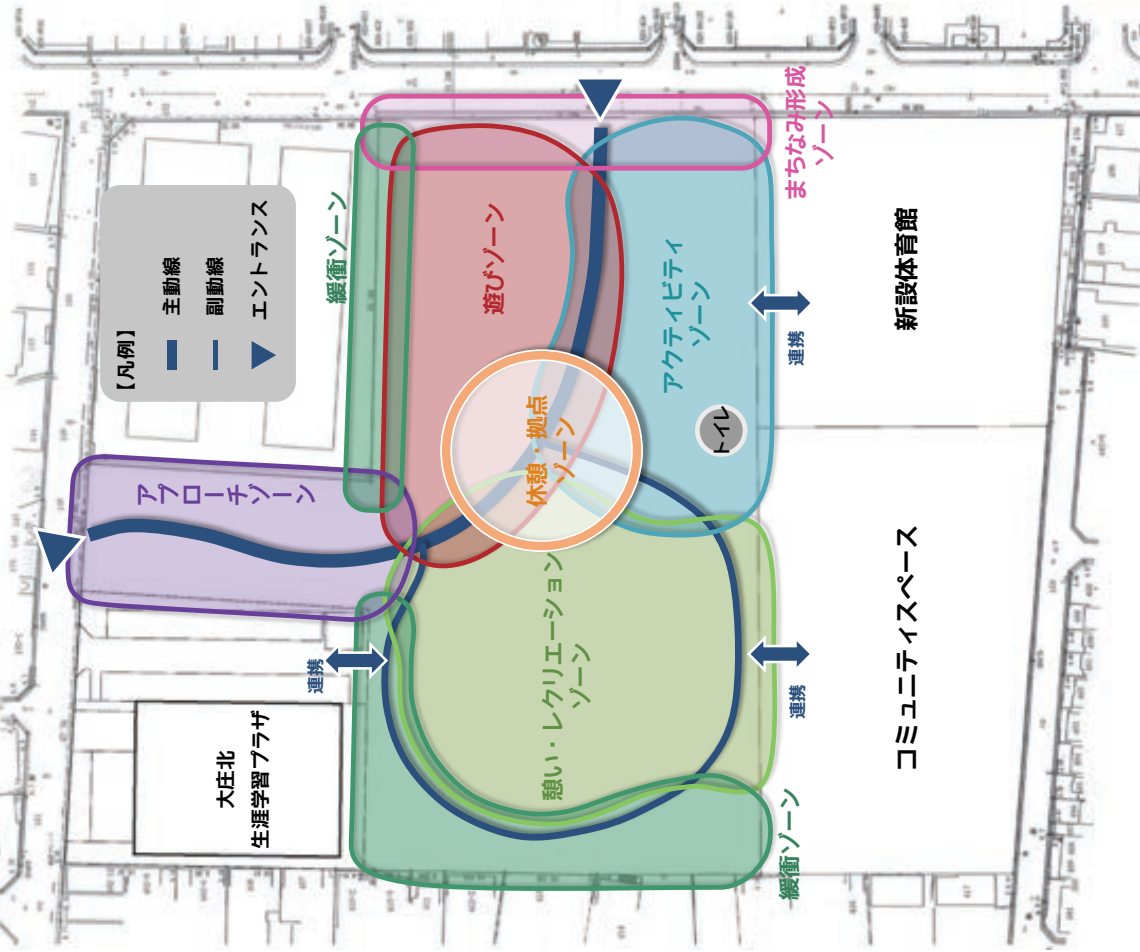
計画地のなかで、最も広くまとまったエリア。誰もが多目的に使えるゾーンとします。

- 「主な利用イメージ」
- ・ 広場（芝生、土のグラウンド等）
 - ・ 運動、スポーツ
 - ・ 地域のイベント開催 等

緩衝ゾーン

周辺の住宅地や施設等との緩衝のためのゾーンとします。

- 「主な利用イメージ」
- ・ 中低木による植栽 等



遊びゾーン

道路に面し、公園内外の見通しが確保できるエリア。主に子ども遊び場になるゾーンとします。

- 「主な利用イメージ」
- ・ 遊具類（タコ遊具、インクルーシブ遊具等）
 - ・ 水の遊び場 等

アクティビティゾーン

新設体育館に面し、相互連携を図ることができるエリア。アクティビブな活動のためのゾーンとします。

- 「主な利用イメージ」
- ・ バスケコート
 - ・ キッチンカー出店、マルシェ（イベント時） 等

休憩・拠点ゾーン

「憩い・レクリエーション」「遊び」「アクティビティ」の3つのゾーンを見渡せる中心的なエリア。休憩や公園内の滞留の場となるゾーンとします。

- 「主な利用イメージ」
- ・ バーゴラ・ベンチ
 - ・ 水飲み・手洗い 等

まちなみ形成ゾーン

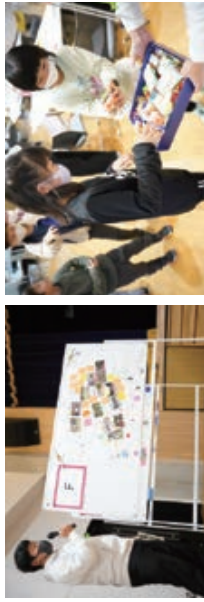
道路に接する東側でまちなみ形成に貢献するゾーンとします。

- 「主な利用イメージ」
- ・ 並木等による景観形成 等

4

発表と放課後

それぞれのグループで、パークスの絵に対して、思ったことや考えたことを共有していただきました。日常、イベントなどさまざまなシーンの絵を想像し、素敵なシートを作成いただきました。今回はそれらをもとにパークスを公表します。また、今回もたくさんの子供たちに参加いただき、大好評のお菓子の振取りも開催しました。



次回のご案内

集大成！
これまでの振り返りと
成果発表

02.18(土) 10:00-12:00

今後の予定

- 第1回 9.23日
やりたいことを出そう！
- 第2回 10.29日
やりたいことを実現するための方法を考えよう！
- 第3回 11.27日
公園内の施設(バーベキュー)を検討しよう！
- 第4回 1.14日
みんなを待てる公園をイメージしよう！
- 第5回 2.18SAT
集大成！これまでの振り返りと成果発表

大庄西中学校跡地に南の口公園がお引越します。「わたしたちの公園」として、より身近に感じていただけたら嬉しいです。市民のみなさんと一緒につくっていくワークショップも第4回目となりました。公園や新施設で何かやってみたい、新しい出会いや発見のある場所にしたい、みんなが集まれるような場所にしたい、用事がなくてもちょっぴり行ってみたい、そんな市民のみなさんの想いをかたちにしていく場です。第4回目は、「将来の公園をイメージしよう」というテーマでワークショップを行いました。個人でも団体でも楽しめる公園づくりをめざし、みなさんからいただいた意見を設計に反映していきます。



番号順に読んでいってね。

大庄西中学校跡地活用

NEWS LETTER 04



2

ワークショップの流れ

1. 前回の振り返り
2. ゾーンプランニングについて
3. パークスの下絵発表
4. 風景づくりワークショップ
5. 各班の発表
6. お菓子のつかみどりを開催



前回の振り返り

前回のワークショップでは皆さんから、ゾーンプランニングや新しくできる(新)南の口公園の実行委員会について意見交換会を行いました。今後実施していくワークショップでは、新しい公園の利活用の方法、空間設備の整備内容やルール、管理運営などについて、社会実験をおして決めていきたいと思います。



ゾーンプランニングについて

公園にどんなことがあったらいいか、どんな機能があれば使いやすいか等の意見をともに、ゾーンプランニング図を作成しました。「休憩・拠点ゾーン」を中心としたプランニングで、安心して、各ゾーンで遊んでいる子供たちの姿を見られるようになっています。



発行元・お問い合わせ先

尼崎市大庄地域課
公園計画・21世紀の森担当
(大島 3-9-25)
大庄北生涯学習プラザ)
電話：06-6419-8221
FAX：06-6419-8226
Mail：ama-osygo-chiiki@amagasaki.hyogo.jp





第4回意見交換会ニュースレター

3 当日の意見交換の流れ

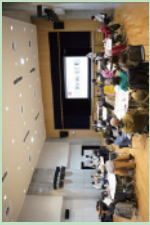
前回までのワークショップで皆さんから頂いたやり取りのことやあったらいいな、成文小学校の生徒たちの意見をもとに、風景カードを作成しました。新しくできる公園をイメージしながら、新しい公園でどのような風景が見られると良いか、風景カードを使いながら、皆さんにイメージマップを作成してもらいました。



風景づくりワークショップ

各班、風景カード以外にもさまざまな意見が飛び交い、付箋やペンを多用し表現していただきました。

テーブルごとに分かれる



自己紹介をする



イメージマップをつくる



みんなで共有する



■Fチームのコメント

子どもにやさしい公園のシンボリックな要素が欲しい！

色々なスポーツができる場所になったらいいな。

子どもたちを見守りやすい公園になったらいいな。

■Dチームのコメント

防災公園の機能を忘れないような公園運営をしたい！

高齢者が休めながら子どもたちを見守れるような休憩場所が欲しいな。

盆踊りや、まちのイベント、以前のたこ公園で行っていた活動を引き続き行ってほしいな。



■Cチームのコメント

マルシェが出せて賑わう公園がいいな。

仮設物を使って、その時々に合わせて運営ができるといいな。

コミュニティスペースも活用したドッグランやマルシェのイベント開催

タコを象徴とした遊具などがあるといいな！



第5回意見交換会ニューズレター

4



ワークショップ展示会

イメージパースの発表後は、今年度頂いたみなさまからのアイデアや描いてもらった公園の将来像などを展示しました。みなさまと一緒かしいアイテムを見ながら振り返りを行うと同時に、意見交換が行われる場面も見られました。これまでと違った形式で意見交換を行い、ざっくばらんに対話することができ、有意義な時間となりました。来年度の活動もこのように振り返りができるよう可視化をしていき、皆様とより一層意見交換ができるよう努めていきます。



おかしの掴み取りとモルック遊び

ワークショップ展示会の隣では地域の子供たちにも恒例となったお菓子の掴み取りとモルック遊びで賑やかな空間になりました。元気一杯の子供たちが楽しめる（新）南の口公園になるよう、来年度も地域の子供たちの意見を積極的に取り入れていきたいと思います。



次回のご案内

来年度以降の活動は後日公表します。

大庄西中学校跡地に南の口公園がお引越します。「わたしたちの公園」として、より身近に感じていただけたように、市民のみなさんと一緒につくっていくワークショップも最後の第5回目となりました。公園や新施設で何かやってみたい、新しい出合いや発見のある場所にした、みんなが集まれるような場所にした、用事がなくともちょっと行ってみたいような場所にした、そんな市民のみなさんの想いをかたちにしていく場です。

第5回目は1年間を通してみなさまからいただいた意見を反映したイメージパースを発表し、これまでワークショップで使用したアイテムなどを展示し、1年間を振り返る会となりました。



大庄西中学校跡地活用

NEWS LETTER 05

発行元・お問い合わせ先

尼崎市大庄地域課
 公園計画・21世紀の森担当
 (大島 3-9-25)
 大庄北生涯学習プラザ
 電話：06-6419-8221
 FAX：06-6419-8226
 Mail：ama-osyo-chiiki@amagasaki.hyogo.jp

2



ワークショップの流れ

1. これまでの振り返り
2. パースの公表
3. 今後の予定について
4. ワークショップ展示会

これまでの振り返り

地域の皆さまにご参加いただいた計4回分のワークショップを振り返りました。成文小学校の児童に描いてもらったイラストや、ゾーンプランニング、(新)南の口公園で何しよう？実行委員会など、振り返ると共に今後の活動方針をみなさんと共有しました。



「(新)南の口公園で何しよう？」実行委員会

(新)南の口公園は、大庄地域の中心に位置しており、地域コミュニティの核として、少子高齢化といった地域の課題解決や賑わいつくりについて貢献していく、一つの拠点となります。誰にとっても楽しい公園ライフとなるように、まずは市民、事業者、行政などが一緒になって、(新)南の口公園の活用を考えていきます。公園を活用したイベントの実施や活動団体同士の連携、公園利用のスケジュールなどについて、この実行委員会で考えていきたいと思います。





第5回意見交換会ニュースレター

3 (新)南の口公園イメージパース

みなさまからの意見を反映し、[日常(休日)]、[イベント時]の2カットのイメージパースを作成し、公表しました。地域の方々が集い、賑わう公園になるように社会実験等を通じて、公園のルール作りや運営を目指してまいります。



☆[日常(休日)]



☆[日常(休日)] 解説



☆[イベント時]



☆[イベント時] 解説



次回以降の予定については、4を探してね！



☆「上記のパースはイメージです。社会実験を通じて公園整備内容の検証を行ってまいります。」